

「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」について

第2回「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」を開催しましたので報告します。

1. 第2回研究会概要

開催日時：平成26年10月6日 13:00-15:15

- 議 事：(1) 第1回研究会の主な意見
- (2) 琵琶湖大橋有料道路管理区間の課題確認等
- ①交通量調査結果について
 - ②交通量推計結果および交通特性について
 - ③推計結果から見る課題について
 - ④利用者アンケート案について

2. 議事要旨

- ・ 守山市側の交通容量は1.2などとなっているが、土日祝や朝はこの程度ではない。都市計画どおり4車化すべきだが、難しい。代わりに野洲川幹線などの整備が必要となる。
- ・ 滋賀の道路整備は遅れている。大局的に考えて、近江の二の舞にならないよう、有料道路での財源の活用が必要。
- ・ 国との協議を進め、研究会で報告して進めてほしい。
- ・ 道路整備のために、料金を財源にしなければならない理由がわからない。現在の理屈ならどこでも整備できることになり本末転倒である。お金をかけるところを利用者が納得できるような議論になっていかないと研究会が違う方向になってしまう。
- ・ 外部監査の意見や利用者の利便性を踏まえると、本来は無料にすべきだが、無料化で所要時間がどうなるのかが課題である。道路整備について、研究会で議論すべきは「具体的にどこが問題なのか、どのように解決していくのか」ということ。各市町から明快な必要性を示してもらった上で議論すべき。
- ・ 琵琶湖大橋から遠ざかるほど利用者少ない。市が言うような道路整備を否定するものではないが、有料すべきことではない。整備手法を整理してから議論すべきである。
- ・ 研究会としてまとめるにあたっては、利用者や県民に説明できるものとすべき。

3. アンケートの実施状況

○ハガキアンケートについては、239サンプル※1)を確保

○Webアンケートについては、400サンプルを確保

#有効回答数 380以上 ※1)H26.11.19現在

4. 今後の予定

第3回：平成26年12月1日

議題；琵琶湖大橋有料道路管理区間の課題および対応案

参考；琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会 HP

<http://www.pref.shiga.lg.jp/h/doro/biwakobrgkenkyukai/biwakobrgkenkyukai.html>

■ 推計結果 (現況)

～今、無料にしたらどうなるか。～

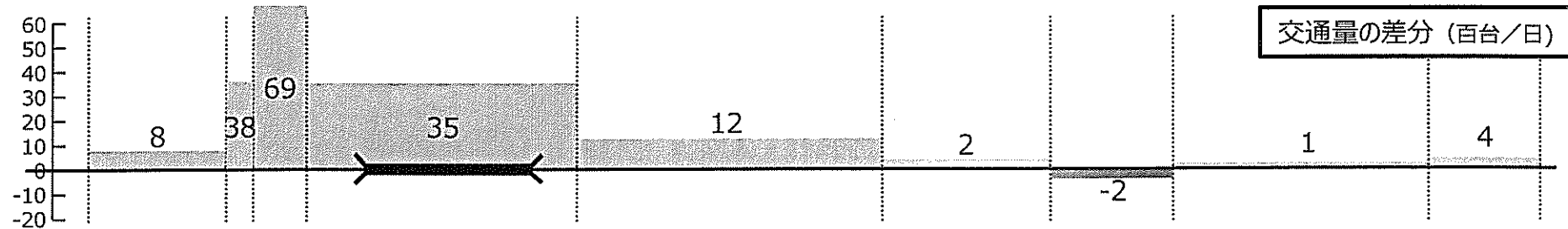
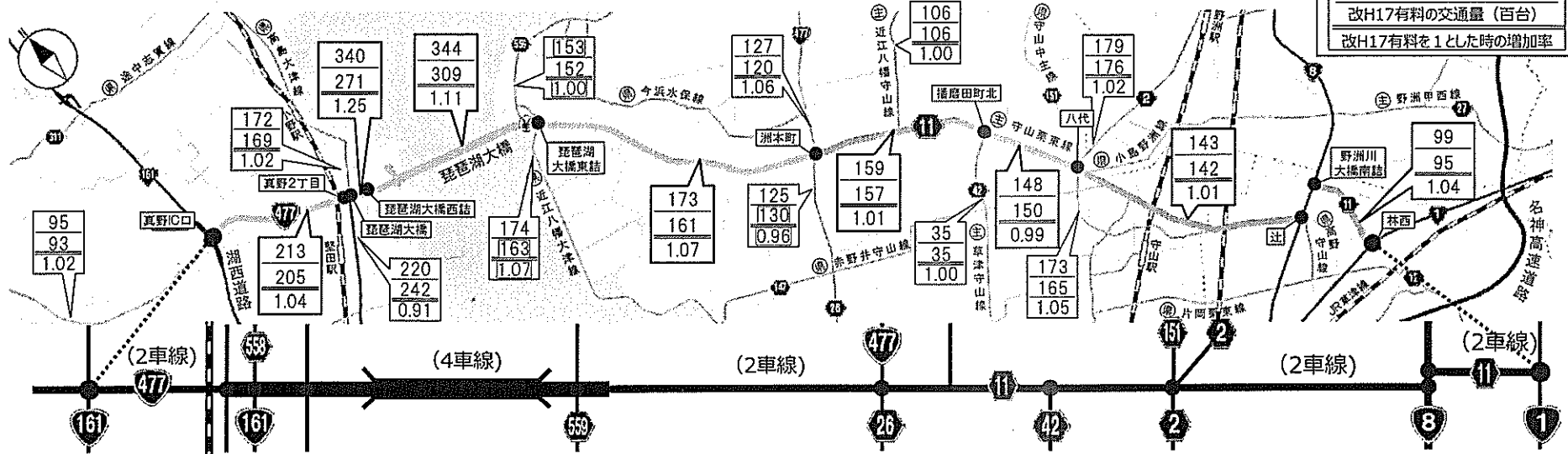
資料1

①無料と有料の交通量の変化

<改H17無料：改H17有料>

凡例

改H17無料の交通量 (百台)
改H17有料の交通量 (百台)
改H17有料を1とした時の増加率



- 琵琶湖大橋 : +3,500台/日 増加率1.11倍
- 有料道路管理区間 : (西側) 琵琶湖大橋交差点～琵琶湖大橋西詰交差点 : 1.25倍
(東側) 琵琶湖大橋東詰～洲本町交差点 : 1.07倍
その他区間 : 著しい変化なし
- その他道路等 : 著しい変化なし

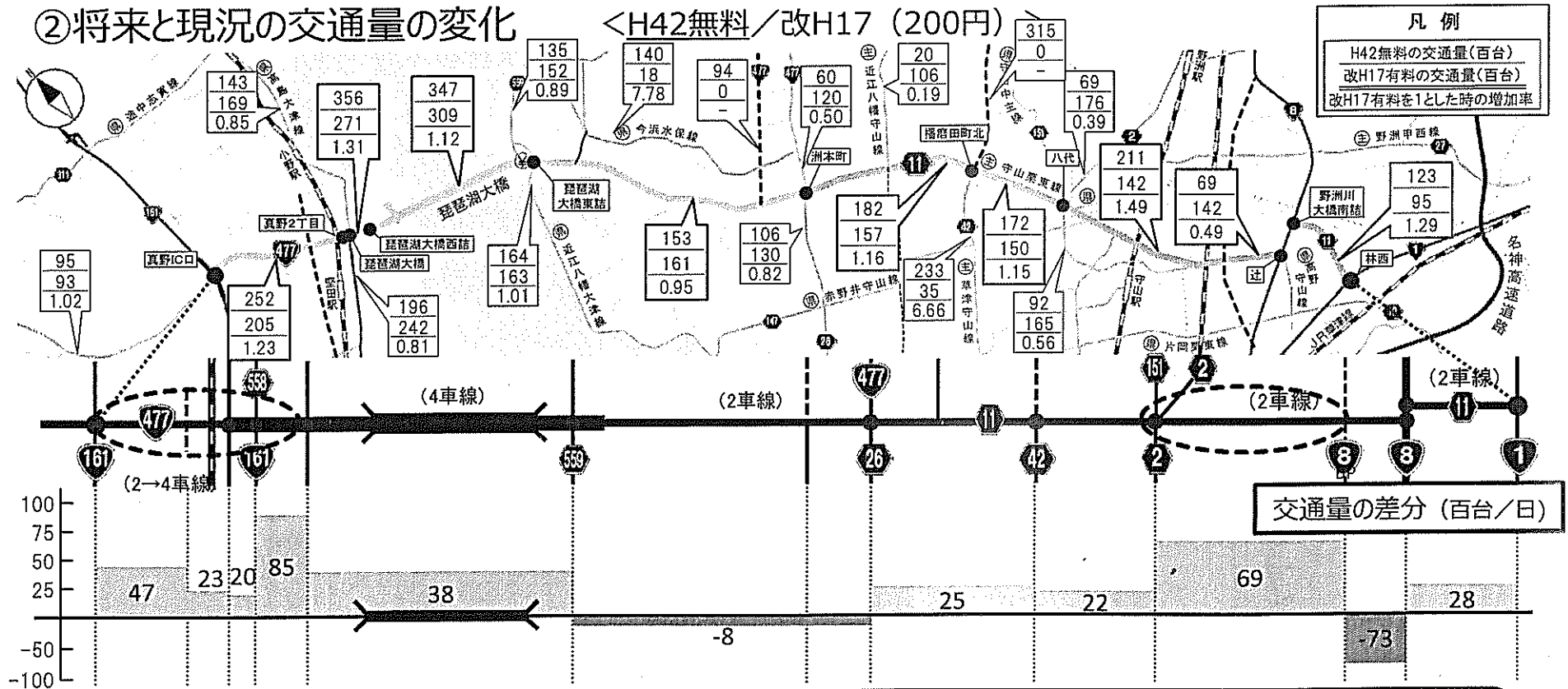
■ 推計結果 (将来)

～将来の交通量の変化はどうか。～

資料2

② 将来と現況の交通量の変化

<H42無料/改H17 (200円)>



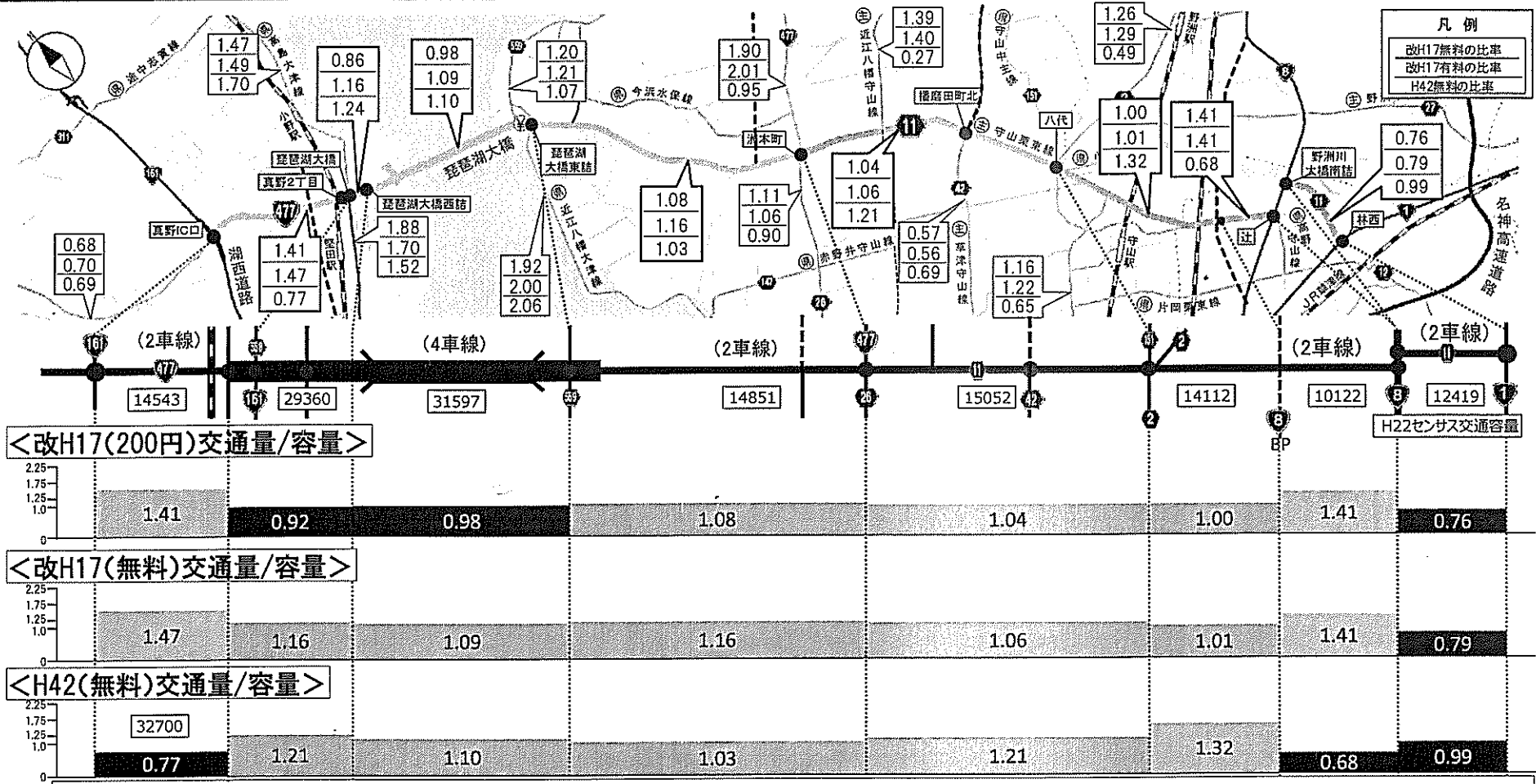
- 琵琶湖大橋 : +3,800台/日 増加率1.12倍
- 有料道路管理区間 : (西側) R477号 約1.23、(東側) 八代~R8バイパス 1.49倍
- その他道路等 : (東側) 南北方向の道路 減少、草津守山線 著しく増加



(西側) R477の4車線化により交通量が増加。
 (東側) 県道 草津守山線 (大津湖南幹線) の整備により、南北方向の道路の交通が転換。
 R8バイパスと大津湖南幹線間の交通が増加。

■ H22センサス交通容量との比較

資料3



有料と無料による変化

- 琵琶湖大橋 : +0.11
- 有料道路管理区間 : 著しい変化なし

将来と現況による変化

- 琵琶湖大橋 : +0.12
- 有料道路管理区間 : R477号4車線化、国道8号BPにより一部で比率が減少

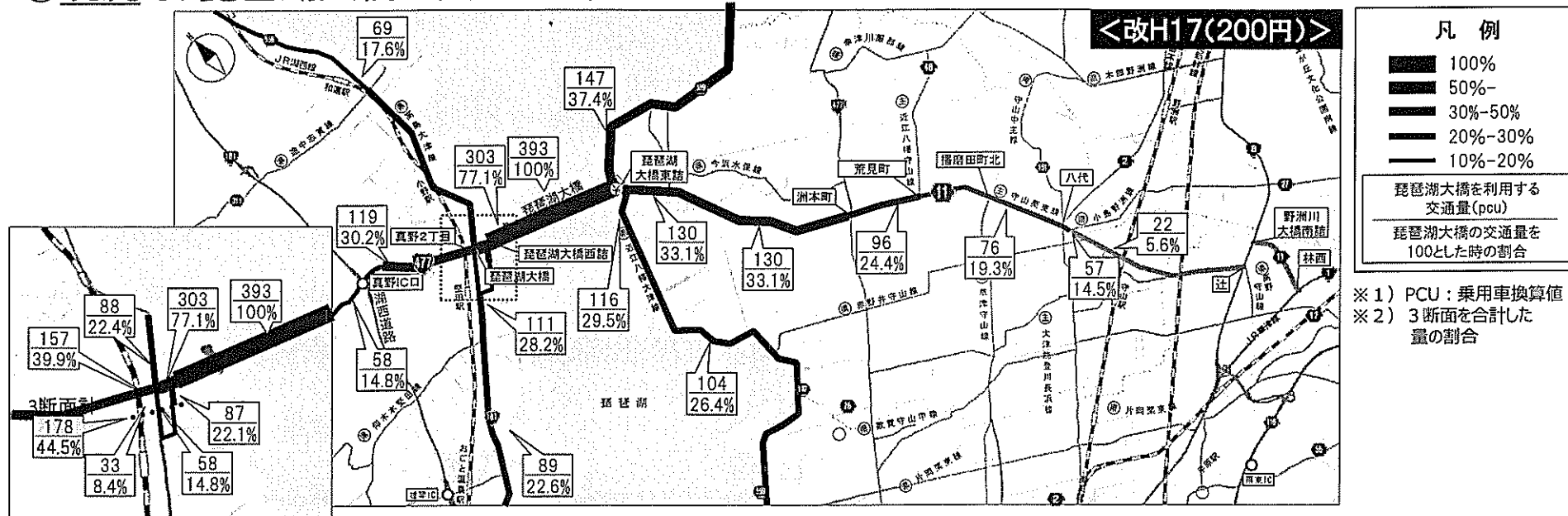
※比率は、H22センサス交通容量と推計交通量の比率で算出
 拡幅や新設を行っている区間は近畿地方整備局評価用容量で算出
 ※区間設定はセンサスと同様とし、観測地のリンク交通量を採用

➡ 有料と無料では比率に著しい変化はない。
 将来と現況ではR8バイパス整備などにより東側で比率が上昇。一方、R477大津市域で4車線化により比率減少

琵琶湖大橋利用者の交通特性

資料4

①現況で、琵琶湖大橋を利用する車がどの道路を選択しているかを見てみると・・・



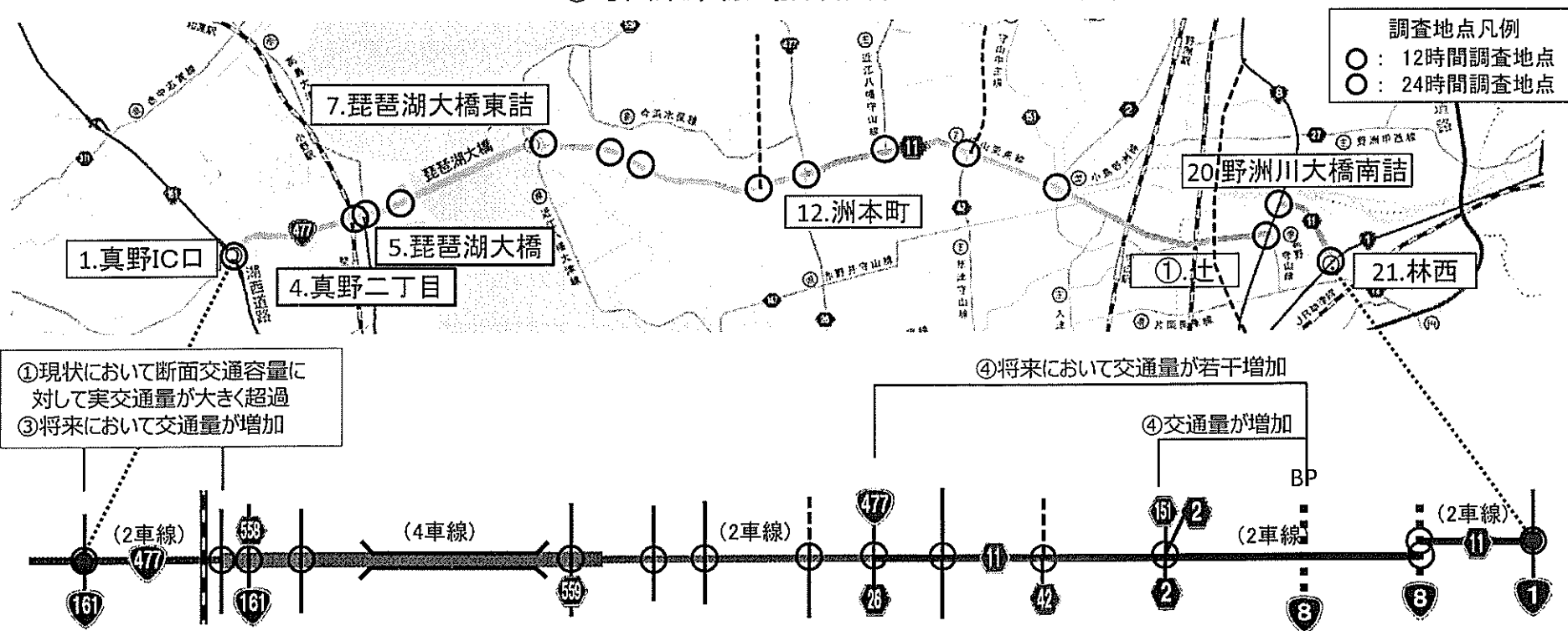
- 有料道路管理区間 : (西側) R477号 ~琵琶湖大橋交差点77.1%、~真野IC手前30.2%
(東側) R477号 ~洲本町 33.1%、
(県) 守山栗東線 ~荒見町 24.4%、~八代 19.3~14.5%
 - その他道路等 : (西側) R161号 44.5※2) ~22.6%、R477号 真野IC~ 14.8%
県道高島大津線 22.4~17.6%
(東側) 県道近江八幡大津線 37.4~26.4%
- 琵琶湖大橋直近の交差点で、琵琶湖大橋を利用する車が3方向に分散
橋から琵琶湖大橋交差点までの区間は、琵琶湖大橋を利用する車のうち75%以上が利用する
琵琶湖大橋を利用する車が有料道路管理区間を利用する割合は橋からの距離と共に低減
琵琶湖大橋を利用する車のうち、八代交差点より東側は10%未満

■ 琵琶湖大橋周辺道路網の課題について

資料5

【これまでの結果から】

- 交通量調査結果：①国道477号（真野IC口～真野二丁目）において交通容量に対して、実交通量が超過
- 交通量推計結果（有料と無料）：②無料化することによる交通量の変化は1割程度で著しい変化なし
- 交通量推計結果（将来と現況）：③国道477号（真野IC口～真野二丁目）において交通量が増加
④守山栗東線（播磨田北～R8BP交差点）において交通量が増加



■ 利用者アンケートの概要

(1) 実施目的

①利用特性の把握

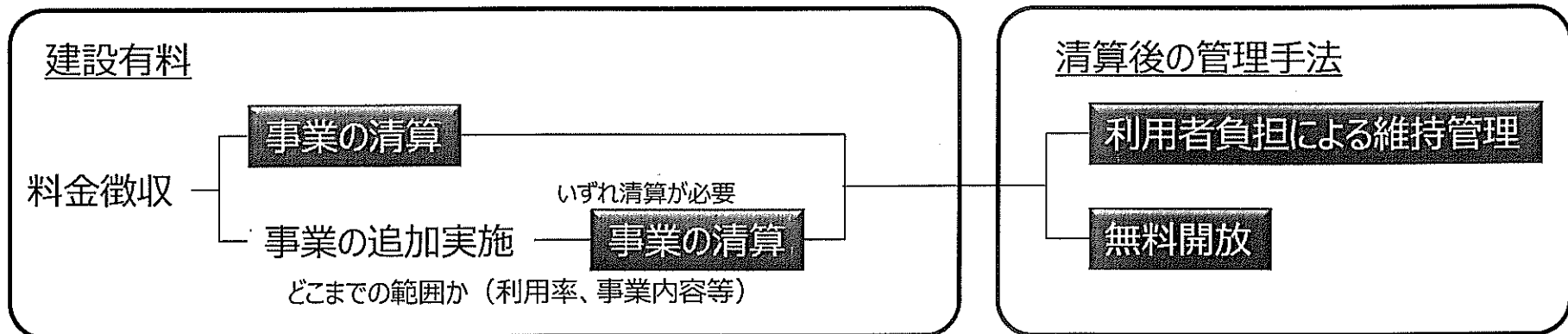
(利用頻度、移動目的、発着点、有料道路管理区間の利用範囲)

②琵琶湖大橋有料道路の今後の整備方針に対する考え方の把握

(有料道路として整備してもよいと考える課題、その範囲)

③琵琶湖大橋本体の維持管理費用の負担に対する考え方の把握

(webアンケートと同様の質問)



(2) 実施方法

- 調査対象 琵琶湖大橋利用者
- 実施時期 H26.10中旬～
- 配布方法 webモニター、回数券購入者への手渡し
- 回収方法 インターネット、郵送
- 有効回答数 380以上確保
- 結果公表 第3回研究会

■ 調査項目の比較

項目		H25.11県政モニター	H25.11WEBモニター	H26秋予定(今回提案)
対象/回答数		県政モニター/399人(回収率80.2%)	民間WEBモニター/700人	①回数券購入者(管理事務所来訪) ②回数券購入者(料金所) ③Webモニター(有料道路利用経験者) /①~③延べ380以上の回答を確保
回答者属性		滋賀県在住者 (琵琶湖大橋を通常利用しない(20.6%)を含む)	滋賀県在住者、18~79歳、運転免許保有(琵琶湖大橋を通常利用しない(36%)を含む)	回数券購入者およびwebアンケートは滋賀県在住・琵琶湖大橋利用経験ありの免許保有者(琵琶湖大橋利用者に絞ったアンケート)
設問	属性	性別、年代、居住地域、職業、運転頻度、運転目的、運転地域、交通手段の変化	性別、年代、職業、運転頻度、運転目的、運転地域、交通手段の変化	・性別、年代、職業、居住地域
	道路整備と維持管理(一般論)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備と維持管理のバランス ・交通量に応じた維持管理水準の考え方 ・道路整備を重視する道路(生活道路・幹線道路・広域幹線) ・自由意見 		・設問なし
	琵琶湖大橋関連	<ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度 ・混雑と有料・無料の考え方 ・維持管理レベルと有料・無料の考え方 ・琵琶湖大橋の支払意志額 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度/目的 ・主な出発地/目的地【※1】 ・無料となった際の利用頻度【※1】 ・増える場合の主な移動目的【※1】 ・上記目的での出発地/目的地【平日のみ】 ・混雑と有料・無料の考え方 ・維持管理レベルと有料・無料の考え方 ・琵琶湖大橋の支払意志額 <p>※1：平日休日別に設問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度/目的 ・主な出発地/目的地 ・有料道路管理区間の利用範囲 ・徴収料金で負担してもよい整備項目(渋滞対策、事故対策、その他、整備なし無料) ・整備可に回答した方に、整備の対象としてもよい範囲(橋、有料道路管理区間、他含む) ・維持管理レベルと有料・無料の考え方 ・自由意見 <p>赤字：過年度追加設問</p>

■ 今年度アンケート実施方法（案）

項目	管理事務所・販売所配布	料金所配布	Webモニター
配布方法	管理事務所や販売所に回数券購入で訪問された方に返信はがき付のアンケート用紙を配布	料金所にて回数券を求められた方に、料金徴収員よりアンケート用紙を配布	<p><一次調査結果> H26.7時点で滋賀県在住、琵琶湖大橋利用経験有、利用頻度別モニター数は以下の表1の通り。</p> <p><本調査> 配布アンケートと同様の設問をweb画面で作成し、上記対象者に送信</p>
回収方法	<p>①その場で記入管理事務所備付回収箱に投函</p> <p>②返信はがきにて郵送回収</p>	返信はがきにて郵送回収	Web上での回答
アンケート期間	<p>配布期間：2週間</p> <p>回収期間：配布期間終了後1週間</p> <p>アンケート集計：回収締切後2週間</p> <p><合計5週間></p>		<p>Web画面作成期間：1週間</p> <p>回収期間：2週間</p> <p>アンケート集計：回答締切後1週間</p> <p><合計4週間></p>

表-1 一次調査結果より抽出されたWebモニター数(最大数)

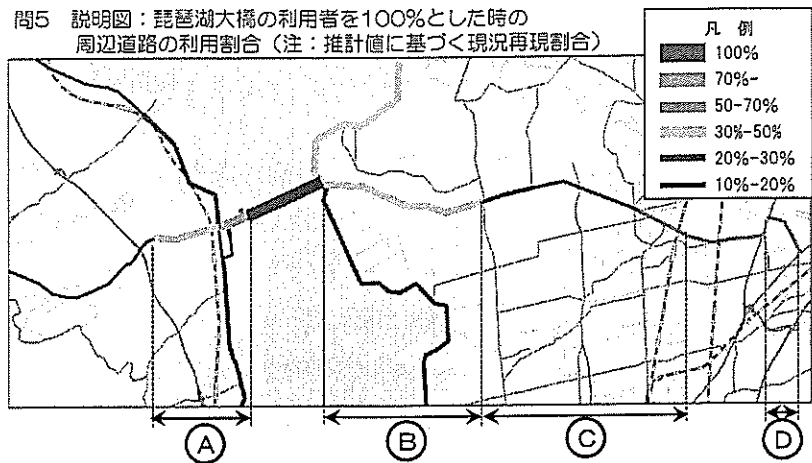
属性	対象モニター最大数		
	人数	累加人数	
琵琶湖大橋 利用頻度	週に3日以上	41票	41票
	週に1～2日	55票	96票
	1ヶ月に数回	293票	388票
	半年に数回程度	558票	946票
	年に数回程度	601票	1547票

※滋賀県の免許保有者モニター全員に配布した場合の想定数

問5

問4で「1. さらに整備が必要」と回答された方へ（2. と回答された方は問6へ）
整備を実施してもよいと思われる区間を全て選択してください。

- 該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）
- 「2. 琵琶湖大橋を除く有料道路管理区間」を選択された方は、整備を実施してもよいと思われる区間を、右図の下にある区間 A~D より選んで回答欄の（ ）内のA~Dに○をつけてください。（複数回答可）
- 2, 3, 4 を選択された方は（ ）内に具体的な場所をお書き下さい。
- 2, 3, 4 を選択された方は、琵琶湖大橋を利用する方のうち、何割以上の方が利用する道路（区間）であれば料金で整備をしてもよいと思われるか、該当する数字に○をつけてください。（問5説明図参照）



問6

今後の維持管理費の財源についてお答えください。

借入金等を完済し、無料になると、琵琶湖大橋の維持管理に必要な費用は税金でまかなうことになります。
今後の維持管理費の財源について、あなたの考えに合うものを1つ選んでください。

- その他を選択された方は（ ）内に具体的な内容をお書き下さい。

琵琶湖大橋有料道路の維持管理状況について

<琵琶湖大橋の維持管理費>

県の試算値で約1.5億円/年となります。

管理項目	項目内訳	年あたり平均
通常維持管理	電気代、清掃、点検、雪寒対策等	0.1億円
修繕費(頻度:高)	照明、橋梁点検、舗装、塗装等	0.3億円
修繕費(頻度:低)	防水、電気防食、支承、床版等	1.1億円
合計		1.5億円

注)修繕費は必要な頻度で割って年あたり必要額を算出していることから、年によりばらつきがあります。

<琵琶湖大橋以外の有料道路管理区間における維持管理費>

過去の実績から約2.0億円/年となります。

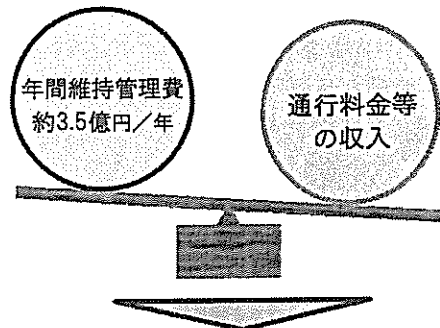
管理項目	項目内訳	年あたり平均
通常維持管理	電気代、清掃、点検、雪寒対策等	1.7億円
修繕費	構造物	0.3億円
合計		2.0億円

注)修繕費は必要な頻度で割って年あたり必要額を算出していることから、年によりばらつきがあります。

**琵琶湖大橋有料道路管理区間の維持管理費
合計 約3.5億円/年(試算値)**

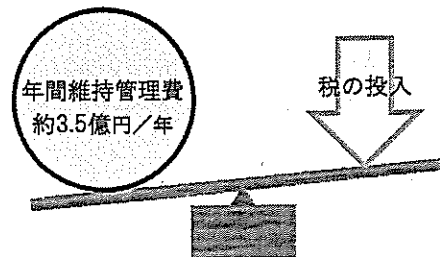
<現在の維持管理>

通行料金等で維持管理費をまかなっています。



<無料化後の維持管理>

他の道路と同様に、維持管理費を税金でまかなっていく必要があります。



問7

問4・問6の設問を踏まえ、琵琶湖大橋を普通車で利用する際に支払っても良いと考える料金について、あなたのお考えに近いものを1つ選んでください。

- 該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

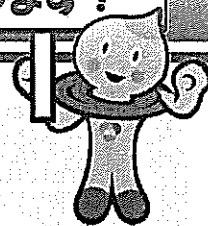
問8

問4~問7の設問を踏まえ、ご意見があればお聞かせ下さい。

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

琵琶湖大橋利用に関するアンケートへのご協力のお願い

ご協力
おねがい
します!



アンケートの目的

いつも琵琶湖大橋有料道路をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、琵琶湖大橋有料道路の利用実態と通行料金などに対するご意見をお伺いするものです。

琵琶湖大橋有料道路は、琵琶湖大橋とその取付道路の区間からなり、通行料金で建設にかかった費用の返済と維持管理にかかる費用をまかなっています。料金徴収期間は平成33年9月27日までですが、計画を上回る料金収入があり、早期に完済し無料にすることが可能です。一方、無料化する前に、料金収入で琵琶湖大橋に関連する道路のさらなる整備を求める声もあります。

さらに、無料化した場合、料金収入でまかなっていた維持管理費をどのように工面するかも課題です。

これらのことを議論するため、現在、滋賀県では「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会 (http://pref.shiga.lg.jp/h/doro/index.html)」を設置し、議論しており、このアンケートの結果を検討資料として活用させて頂く予定です。

アンケートの目的をご理解頂き、ご協力頂きますよう、よろしくお願いいたします。

【管理事務所等でアンケートを受け取られた方へ】

回数券を購入された方で、ご自身が琵琶湖大橋を利用されない場合は、使用される方にご回答頂きますようお願いいたします。

このはがきを切り取ってから
アンケートに進んでください

平成26年11月10日
までに投函願います。

アンケートの実施主体

<お問い合わせ先>

滋賀県 土木交通部 道路課
道路企画担当
琵琶湖大橋アンケート係
(担当 北川、久村)



〒520-8577
大津市京町四丁目1番1号
TEL 077-528-4132 (道路課直通)

ご協力をお願いします。

郵便はがき
5 2 0 - 8 7 9 0
料金受取人払郵便
大津中央局 承認
413
差出有効期限 平成26年12月20日 (切手不要)
大津市京町四丁目1番1号
滋賀県 土木交通部 道路課
琵琶湖大橋アンケート係 行

問1 【ご自身について】

1)住所 【ご自宅の郵便番号または住所のいずれかをご記入ください】
〒() ()
または()都府県 ()市町村

2)性別 1. 男性 2. 女性

3)年齢 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

4)職業 1. 農林漁業 2. 運送業 3. 会社員(運送業以外)
4. 公務員 5. 自営業 6. 主婦・主夫
7. 学生 8. その他() 9. 無職

問2 【利用頻度、主な利用目的】

1)利用頻度 1. ほぼ毎日 2. 週に2~3回 3. 週に1回程度
4. 月に1~3回程度 5. 3か月に1回程度 6. 年に1~3回程度
7. 数年に1回程度

2)主な利用目的 1. 通勤・通学 2. 商談・打合せ 3. 荷物輸送
4. 乗客輸送 5. 送迎 6. レジャー・娯楽
7. 買い物 8. 通院、お見舞い 9. その他()

問3 【出発・目的地および利用経路】

1)出発地 出発地: ()都府県 ()市町村
目的地 目的地: ()都府県 ()市町村

2)経路 進入経路 ()方向 退出経路 ()方向

